

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス仁(めぐみ)		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和7年10月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和7年9月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名 (回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	意思決定支援の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月のプログラムや長期休み期間において、こどもたちの話し合いによりプログラムを決めている ・ 行きたい場所の経費(交通費、入館料、その他の費用)と上限の費用額等を利用児たちで決定できるように支援している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用児の興味のあるプログラムの資料提供ができるように情報収集 ・ 当事業所だけでなく、他の事業所や放課後児童クラブ及び地域の文化・スポーツクラブとの交流会できるように良好な関係を築く
2	障害者との交流会 (利用児の保護者と障害者の保護者との交流会)	保護者のこどもが、青年になった時の日常生活をイメージ(理想となる青年像)から『今』何を準備しておかなければならないかを保護者の方と一緒に考える機会を提供している	利用児の保護者と障害児の保護者の方と交流を含めた自治会を組織する
3	地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のこども会との交流(当事業所の堀にアートペイント) ・ 地域の方との焼き芋会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各交流会の案内を早くする(チラシ、めぐみHP) ・ 当事業所の堀に案内板を設置しチラシを掲示する ・ 地域行事に参加し地域住民との交流を図る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者へ情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎サービス利用児が多く、各保護者にその日の支援内容を伝える時間が限られている ・ 車1台に数人の利用児が乗車のため、一人の保護者に対する報告時間が短くなっている ・ 開所日が平日のため、就労している保護者に直接情報提供が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日を開所日として、保護者への支援内容の報告と相談日とする ・ WEBを活用し保護者への情報提供を図る
2	非常時の対応の周知	基準配置職員のみで、通常の支援に重点をおいているため、非常時など支援を考える余裕がない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準配置職員以外の職員の配置する ・ 各種マニュアルを保護者に情報提供する ・ 保護者と一緒にリスクマネジメントを協議する機会をもつ
3			